

神奈川県学校農業クラブ連盟「家畜審査競技会」が開催される

8月1日（金）、神奈川県学校農業クラブ連盟主催の「家畜審査競技会」が、当所の牛舎で開催されました。家畜には、品種により体型や体格などに理想とされる姿（審査標準）があります。体型等を評価することで生産能力を判定する家畜審査は、家畜の改良を進める上で重要な技術です。競技会に出場したのは、県立相原高等学校、中央農業高等学校、吉田島高等学校、三浦初声高等学校の学生（乳牛の部14名、肉牛の部12名）で、乳牛（成畜4頭、幼畜4頭）と肉牛（成畜4頭、幼畜4頭）の2部門に分かれ、体の各部位や全体の姿などの評価を制限時間内（成畜20分、幼畜10分）に審査・順位付けし、その正確性を競い合いました。

当日は酷暑の中ではありますが、防疫服を着用した各選手は、制限時間いっぱいまで暑さにもめげず真剣な面持ちで、競技に取り組んでいました。

競技終了後には、普及指導員が各家畜の体型の特徴や序列について講評を行うとともに、閉会式では各部門から最優秀賞と優秀賞の受賞者が選出され、表彰を受けました。

備考：当所は、競技会用の家畜の準備、審査問題の出題、競技後の講評等を担当しました。



開会式



肉牛審査の様子



乳牛審査の様子